

くずまき 議会だより

No.
154

平成23年4月30日発行



カッパが登場する昔話に笑顔が広がる葛巻保育園児（昔話を聞く会）

23年度予算71億9,714万円

23年度予算質疑

定例会・臨時会で決まったこと

2P

4P

8P

一般質問 ～ 3議員が町政を問う～

5議員が全国・県町村議会議長会表彰を受賞

・復興への努力と勇気に感銘

9P

12P



23年度予算を満場で議決

一般会計予算概要

項目	予算額	構成比	項目	予算額	構成比		
収入	町税	4億7,994万円	10.1%	支出	人件費	9億1,745万円	19.4%
	分担金等	7,652万円	1.6%		扶助費	3億6,711万円	7.7%
	その他	2億3,611万円	3.4%		公債費	8億6,222万円	18.2%
入	地方交付税	30億5,000万円	64.5%	建設事業費	3億9,674万円	8.4%	
	国・県支出金	4億9,055万円	10.4%	物件費	7億4,184万円	15.7%	
	町債	3億4,010万円	7.2%	負担金等	13億9,444万円	29.5%	
	その他	1億3,343万円	2.8%	積立金	5,033万円	1.1%	
合計	47億3,013万円	100.0%	合計	47億3,013万円	100.0%		

予算額の1万円未満は四捨五入しています

一般会計の支出を町民1人当たりになると (家計に例えると)

(積立金)

貯金
6,786円



(人件費)

食費・光熱水費
123,696円





637,743円

23年3月末の人口7,417人

(負担金等)

税金・年金
・保険料等
188,006円



(扶助費)

医療費・学費
49,496円



(物件費)

交際費
100,019円



(建設事業費)

衣類・家財・車等
53,491円



(公債費)

住宅ローン等
116,249円



特別会計予算概要 ()内は対前年度比または前年同期比

会計名	予算額	加入戸数等：1月末現在	加入者数：1月末現在
国民健康保険事業	11億1,310万円 (▲ 1.7%)	1,536世帯 (▲2.4%)	2,975人 (▲5.0%)
簡易水道事業	1億6,863万円 () 2.8%	2,707件 (▲1.0%)	6,743人 (▲2.3%)
農業集落排水事業	1億9,961万円 (▲12.0%)	855戸 () 0.7%	-
後期高齢者医療事業	6,645万円 (▲12.8%)	-	1,623人 (▲0.4%)
国民健康保険病院事業	9億1,922万円 (▲ 0.8%)	23年度患者見込み数	一般病床入院 12,810人 (▲18.8%)
			療養病床入所 6,405人 () 0.3%
			外来 41,480人 () 3.5%
合計	24億6,701万円 (▲ 2.4%)		

予算額の1万円未満は四捨五入しています

子育て支援対策として1,448万円 5歳児の保育料を全額無料・乳幼児医療費助成を小学生まで拡大



＝なかよし広場で交流を深める親子＝

3月定例会は3日から18日まで、16日間の会期で開かれました。初日に、町長の施政方針演説が行われ、新年度予算の概要と「山村のモデルとなる町、住み続けたい誇りの持てる町」の実現に向け最善を尽くしてまいります」と、所信を述べました。続いて、教育委員長が地域を知り地域から学ぶ「ふるさと教育」の推進などを掲げた教育行政方針演説を行いました。

その後、平成23年度当初予算を含む18議案が提案され、輝くふるさと常任委員会で審議を行い、3月18日の最終本会議で追加議案1件を含むすべての議案が原案どおり議決されました。

また、一般質問は3議員が登壇し、冬期間の安全確保、町の活性化、酪農振興対策、安全・安心な町づくり、自殺者ゼロへの取り組み、歩行者の安全対策などについて、町の考えをただしました。

23年度当初予算は一般会計、特別会計を合わせて71億9714万円となります。町債残高(町の借金)の22年度末見込み額は92億4486万円で、前年度と比較して3億8483万円、4・0割減少し、23年3月末現在の人口7417人に対する1人当たりの借金は約125万円です。

一方、基金残高(町の貯金)の22年度末見込み額は、24億2574万円、前年度と比較して7億3089万円、43・1割増加しています。これを町民1人当たりで換算すると約33万円です。一般会計は47億3013万円で、前年度に比べて1413万円、0・3割減少した予算となっています。

主な事業は、葛巻小学校屋内プール整備事業に1億5925万円、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌予防接種に763万円、新婚ライフサポート事業に300万円などとなっています。また、特別会計予算は総額24億6701万円で、前年度に比べて5958万円、2・4割減少しています。

町当局と議会が両輪となり、積極的な事業の推進を！

一般
会計

3月9日

特別枠で子育て支援

総務
企画

問 23年度から実施される5歳児の保育料全額免除を全園児に適用できないか。

答 また、乳幼児医療費助成を中学生まで拡大できないか。

答 人口減少や定住などへの対策という観点から、積極的な対応をしたいと考えています。

くずまきテレビ内容

総務
企画

問 どのような内容を目指しているか。

答 議会中継や町内で行われるイベントなど、皆さんの関心が高いものを考えています。

また、災害情報などをビデオ撮影するための研修会等を行い、多くの職員が対応できるような体制を考えています。



4月1日に開局した「くずまきテレビ」で、議会の様子も放送されます。

情報基盤加入負担金

総務
企画

問 家の新築等をする場合の加

入負担金は、

4月1日に開局した「くずまきテレビ」で、議会の様子も放送されます。

入負担金6万3000円を、定住者は全額免除されるが、町民が新築する場合にも同様に全額免除できないか。

答 町から出て10年以上が経過した方を含めたU・Iターン者が新築等をする場合は、加入負担金が全額免除されます。定住者以外の全額免除については、今後検討します。

定住対策の推進内容

総務
企画

問 定住促進奨励金の内容は。また、定住を希望する方の問い合わせ件数と空き家情報の提供状況は。

答 県の10割補助で、事前に1週間程度滞在して、町に対する認識を深めてもらえるよう「くずまき暮らし体験居住」を新設しました。定住希望者からの問い合わせは、月に数件です。

県北バス路線の維持

総務
企画

問 路線存続の見直しは。

答 路線存続については平均乗車人数が5人以上を必要とし、現在厳しい状況であることから、維持するよう取り組みが必要と考えています。

ものづくり人材育成

総務
企画

問 支援事業の内容や対象は。

答 町内の企業等における従業員の技術力の向上を目的とした派遣研修、専門家等を招いての研修などに助成するもので、商工会や森林組合なども含めた町内の事業所すべてが対象です。

町有住宅の管理運営

総務
企画

問 町有住宅の管理と利用状況は。

答 農用地開発公団からの払い下げや廃校により移管された住

途と使用後の廃油の回収は。
答 対象面積は1畝ですが、今は面積拡大に努める考えです。用途については、道の駅などで販売したいと考えています。廃油の回収については、地域エネルギー活用検討委員会でも取り上げられており、今後検討します。

中山間地域直接支払

農林
環境

問 制度の継続とその実績、要件の見直しを国に働きかける考えは。

答 この事業は、あと3年間は実施される見通しです。町内では個人が5経営体、集落協定が21協定となっており、ほ場と水路の管理や農機具の購入など、有効に活用されています。

また、水田の要件が緩いと思われることから、畑の要件緩和を要望しています。

予防ワクチンの接種

農林
環境

問 家畜の予防接種頭数の内訳と補助額を引き上げる考えは。

【不通地域】
沢戸孫開拓
毛頭地安馬鷹更森塚尻
根外馬鷹更森塚尻
上外川

災害などへの対策は

総務
企画

問 備蓄用保存食と衛星電話はどこで管理するか。衛星電話はどのような時に使用されるか。

答 消費期限が5年の保存食を、災害時用として毎年100食を備蓄する考えで、保管場所につ

緊急通報装置の設置

健康
福祉

問 今年度の設置予定台数と設置済み状況は。

答 予算計上は5台で、現在127台が設置済みです。対象者は、おおむね65歳以上の1人暮らしの方や2人以上の高齢者だけの世帯などで、年間10件程度の申請があり、約5件は返却された装置を移設することから、年間5台くらいが増設されています。

すずらん工房の運営

健康
福祉

問 4月から就労継続支援B型に移行された場合の支援や運営内容は。

答 これまでの週4日の開所日



毎週火曜日と金曜日の午後、事業所を巡りコーヒーなどを販売するすずらん工房の皆さん

遊休農地解消に菜種

農林
環境

問 菜種栽培の作付面積の拡大の考えは。

また、精製された菜種油の用

答 サルモネラ・ワクチンがホルスタイン5000頭、アカバネ・ワクチンがホルスタイン5000頭と和牛1000頭分、どちらも1頭につき1000円の助成です。
補助額は大きくありませんが、一つの呼び水の考え方もあり、今後検討します。

町内産初妊牛へ助成 農林 環境

問 初妊牛導入事業で町内産を対象にできないか。

答 今後、農協や普及センター等と連携を取りながら、町内の優良牛を保留する誘導対策を検討します。

専属スタッフの養成 農林 環境

問 くずまき高原コーディネーター事業の内容は。

答 視察対応等の見直しや雇用創出も考慮し、今後は専属のスタッフを養成し、総合的な窓口として第3セクターや森林組合などの連携を深めながら、町の魅力や情報を発信する体制を整備するものです。

学校統廃合や運営は 教育 委員

問 統廃合や江刈小学校の老朽化などに対する考え方は。

答 地域から統合したいという声がない限りは、現状どおりの学校配置です。

また、江刈小学校は木造で築後48年が経過し、修理等に対応しています。

教員住宅の利用状況 教育 委員

問 利用状況と建設計画は。

答 小中学校8校の教員住宅は39戸あり、22戸が利用されています。そのうち17戸は校長・副校長などが入居し、学校管理や地域とのコミュニケーションを図っており、5戸は一般へ貸し出しています。

なお、機会あるごとに入居を要請していますが、半数以上の方は町外から通勤している状況です。

また、建設については過疎計画の中で、25年度以降の設計と建設を計画しています。

葛巻小の屋内プール 教育 委員

問 施設内容と運営方法等は。

答 幼児から一般の方まで利用できるよう2階にも部屋をつくり、休憩や活動の見守りができるような施設を計画しています。初夏から秋口までの利用期間で、温水プールの熱源も葛巻に適したものを考えています。

一般開放の運営内容については、今後検討します。

**特別
会計**

3月10日

生活習慣病の予防は 国保 会計

問 メタボリック・シンドロームなどの生活習慣病等に対する特定健康診査の受診率と向上対策は。

答 21年度は対象者が2925人に対し、受診者が1358人で受診率が46・4割。22年度は対象者2184人に対し、受診



特定健康診査の受診率向上を図るための手助けを行う保健委員

健全運営への対策は 国保 会計

問 ①収納率の見込みは。

②レセプト点検による医療費適正化の効果は。
③医療費の軽減化に向けた取り組みは。
④健全運営に向け、一般会計からの繰り入れなどの考え方は。

討論(要約)

山岸はる美 議員

今回の予算は住民に、視点をいただいたものと思います。

保育料の軽減策として5歳児について全額免除や医療費無料化の対象を小学生まで拡大され、子育てをする家庭に大きな支援であると思われれます。

子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンが全額公費で接種が可能になります。

若者を応援する新婚ライフサポート事業も創設されました。基幹産業である畜産振興では、アカバネ病のワクチン接種が拡充。さらには、地域振興作物生産拡大事業では種子購入費への助成による規模拡大、遊休農地解消対策資源循環推進事業は遊休農地の解消とクリーンエネルギーの町がさらに一歩踏み出すことができると思います。

3力年で進められてきた情報通信基盤施設が完成し、町と住民の情報が一つになり、安全・安心の町づくりがさらに一歩も二歩も進むと考えます。

**反対討論 なし
賛成討論 2 議員**

橋場 清廣 議員

商工業の分野で、ものづくり・人材育成支援事業や住宅リフォーム事業を創設したことから研修への派遣支援、商品券の活用で地域経済の効果が期待されます。

また、防災分野では、記録的な大雪災害を教訓に除雪機械を増設するとともに、備蓄用食糧や衛星電話など、まさに今、報じられている被災地での必需品である災害対策備品を整備するもので、消防署や警察署と連携した万が一の際への効果が期待されます。

そのほか、生活支援に重点をおいた予算を計上しており評価するものです。

特別会計は、積極的な事業の推進と健全経営を望みます。総合計画に掲げられておりますように、住み続けたい町、誇りの持てる町を実現するため、町当局と議会が両輪となって、23年度の事業を積極的に推進すべきだと思います。

臨時会
2月2日

第27回臨時会は指定管理者の指定など4議案について審議を行いました。

その結果、22年度一般会計補正予算は反対1、賛成8で、22年度病院事業会計補正予算などの3議案は全会一致で議決しました。

くずまき斎苑の指定管理者に引き続き新岩手農業協同組合を指定することを議決しました。指定期間は、23年4月1日から28年3月31日までです。

定例会

3月18日の最終本会議で23年度当初予算のほか、22年度一般会計補正予算と特別会計補正予算、条例改正、請負契約の締結など、19議案を全会一致で議決しました。

条例・規約改正

4月1日から、それぞれ施行



やまぎし 美 議員
山岸はる美

議員 年末年始の大雪による倒木の影響で道路、電気、電話が不通になりました。雪の重みで畜舎の倒壊や停電のため搾乳ができなかったり、悪路で集乳ができないため牛乳の廃棄を余儀



倒木で道路や通信網が不通となった安孫地区

されます。

◆国民健康保険条例の改正
国民健康保険の加入者が、出産した場合の出産育児一時金を39万円に引き上げます。

◆町立保育所条例の改正
五日市・小屋瀬・江刈の各保育園を葛巻保育園の分園とします。

◆職員の育児休業等に関する条例の改正
育児休業を取得できる対象に、在職1年以上の非常勤職員を加えます。

◆県市町村総合事務組合規約の変更
盛岡地区広域行政事務組合が「盛岡地区広域消防組合」に名称変更することに伴い、規約を変更するものです。

人事案件

◆人権擁護委員の候補者の推薦
下屋敷利美さん（浦子内）を候補者として推薦することに同意しました。

請負契約

◆22年51号河川災害復旧工事
・工事場所 戸草沢地内

・契約金額 5933万円

・工事期限 11月23日

・契約相手 (株)阿部土建
エンタープライズ

町辺地総合整備計画

道路や飲料水供給施設、電気通信施設など公共的な施設を整備するために必要な計画です。

計画期間は、23年度から27年度までの5年間です。

臨時会

3月30日

第29回臨時会は、22年度一般会計補正予算など2議案について審議を行い、全会一致で議決しました。

22年度補正予算

一般会計と特別会計の22年度補正予算については、2月2日と3月30日の臨時会、3月定例会で議決された総額を下表にまとめて掲載しています。

22年度一般会計と特別会計の補正内容

会計名	補正前の予算額	今回の補正額	補正後の予算額	主な内容	
一般会計	57億9,720万円	5億1,729万円	63億1,449万円	公共施設等整備基金積立金ほか	
国民健康保険事業	11億5,566万円	▲748万円	11億4,818万円	共同事業拠出金などを減額	
簡易水道事業	1億8,911万円	▲629万円	1億8,282万円	配水管移設工事費などを減額	
農業集落排水事業	2億3,818万円	▲2,418万円	2億1,400万円	浄化槽整備工事費などを減額	
病院事業	事業収益	9億260万円	300万円	9億560万円	医師当直室の改修
	事業費用	8億2,206万円	300万円	8億2,506万円	
	資本的収入	4,073万円	500万円	4,573万円	自動血球計数測定装置の整備
	資本的支出	5,157万円	500万円	5,657万円	

1万円未満は四捨五入しています

問 冬期間の生活道、電気、通信網の確保は
答 各事業者との連携を密に安全確保に努める

なくされた酪農家もあります。このような大雪災害を想定した場合、通常の除雪対応で生活道の確保はできるか。

また、住民生活に欠かすことのできない電気、通信網の安定供給に向け、事業者に対して働きかけを行う考えは。

町長 この記録的な大雪は想定外のもので、倒木により倒れた電柱や電線が、除雪作業の妨げとなりました。

今後このような状況を想定し、除雪機械の充実と自治会や消防団等との連携を図るとともに、「町地域防災計画」に定める重要幹線町道、定期バスや通院バス、給食車などの運行路線を優先して除雪を行います。

また、今回の2度にわたる大規模な停電という事態に、県知事や東北電力盛岡支店長に対し、停電時の対応等について協議す

る場の設置を要望しており、電力の安定供給の確保に向けて積極的に関わっていきます。

問 若者の定住へ向け住宅と就労の場を

町の活性化には、U・Iターンで定住される方々の呼び込みや、本町に生まれ育った若者たちが町内で就労できる体制づくりが必要と思うが、住宅と就労の場の提供に対する取り組みは。また、空き店舗の活用で賑わいを創出するための施策は。

答 新規事業等導入で就労・住環境確保

町では「過疎対策」イコール「人口減少対策」と位置づけ、この数年間の具体的な対策の結果、20年以降は19世帯43人の方が移住あるいは定住されており、取り組みの効果が表れてきてい

ると感じています。

雇用機会の確保は、基幹産業の農林畜産業に対する足腰の強化と担い手、後継者の育成に支援しているほか、第三セクター3社では100人を超える雇用に継続し、(株)くずまき工房の企業立地により5人の新たな雇用や、既存の企業からも大きく貢献いただいています。

次に住宅に関する施策は、町営住宅に加え、教員住宅等の貸し出しも行っているほか、新婚夫婦に対する新婚生活支援金の交付や新婚ライフサポート事業を今定例会に提案しており、就労環境と住環境の確保に積極的に取り組んでいきます。

空き店舗の活用については、『くずまき「まち・みち」会議』を設置して、意見を十分に集約し、中心市街地の整備構想をまとめていく考えです。



たつやなぎ けいいち 辰柳 敬一 議員

【議員】 酪農振興対策について、①農地の交換、集約化の事業化ができないか。②堆肥処理施設を大型化し、完熟堆肥を利用する農業を目指すべきでは。③自給飼料向上のため、草地造成の事業への取り組みは。

【町長】 ①農地の集積はこれまで国・県の補助事業を活用したり、町単独事業を創出しながら実施してきました。

また、農業委員会や岩手県農業公社で、売買や貸借による利用集積事業を進めています。今後も、地域からの要望や農家の意向を踏まえ、農地の利用集積を進めます。

②本町の乳牛と肉用牛の飼養頭数は横ばいで推移すると予想され、家畜排せつ物は現状の施設を有効活用することで処理でき



共同で堆肥の発酵処理を行なう五日市堆肥利用組合

問

農地の集約化や草地造成等で酪農振興を

答

利用集積事業と循環型農業を推進する

ると考えています。

ただし、個々の経営体では規模拡大が進み、平成16年度までに建設した施設では処理しきれない畜産農家が出てきています。町は、農家が完熟堆肥を生産

できるよう農業改良普及センターや農協などの関係機関と協力しながら、循環型農業の推進に努めます。

③現在、当町の粗飼料自給率は約93%となっており、今後は草地造成のみならず、草地改良や適期収穫が不可欠と考えています。

町では、近隣の3市町で国の畜産担い手育成総合整備事業による草地造成、草地改良を実施するために県や農業公社と連携して進めています。

粗飼料生産の効率化によるコストの軽減と自給率の向上や達成するための方策などを取りまとめます。

問

葛巻分署が老朽化改築の予定あるか

安全・安心な町づくりにおい

答

次期町発展計画で早期の整備を検討

葛巻分署の建物は昭和55年12月に完成し、築後30年が経過しています。これまで毎年、建物や設備の改修などを行い維持管理に努めてきましたが、建物全体の老朽化も進んでいるものと認識しています。

本町の「安全・安心な町づくり」の拠点施設でもある葛巻分署の改築についても、25年度からの「町発展計画」において、整備計画を計上する方向で検討し、過疎計画等の既存の計画と整合性を図りながら、早期の整備を図っていく考えです。



しばた いさお 柴田 勇雄 議員

【議員】 自殺者ゼロを目指す施策向上について、

- ①当町の自殺の原因分析は。②心の健康や生活・経済問題など、各種相談事業の利用状況は。③自殺ハイリスク者への支援システムは。④かかりつけ医と精神科医との連携強化は。⑤自殺死亡率の高い地域へ県からの特別支援の打診は。⑥今後の取り組みは。

【町長】 ①健康や経済、家庭問題などが原因と考えられます。②こころの健康相談や心配ごと相談、心の教室相談、産後うつとの相談など、延べ110人となっています。

また、経済問題に関する相談事業は、生活保護相談や無料法律相談、社会福祉協議会が行っている生活支援相談など、延べ130人となっています。

問

自殺者ゼロを目指す取り組みは

答

関係機関と連携し予防活動に努める

③県では「自殺対策ハイリスク者支援体制づくり」を検討しており、町でも指導を受けながら推進します。

④町こころの健康づくり連絡会で、県からの助言をいただくとともに、医療機関等との連携を積極的に推進します。

⑤「自殺対策緊急強化事業」により、職員派遣など多くの人的支援をいただいています。⑥関係機関の協力を得ながら、自殺予防の啓発活動に努めます。

問

安全・安心な道路の確保対策を示せ

国、県、町道における歩行者の安全対策について、①路線別の歩道整備状況は。②路線別の歩道整備計画は。③歩道の除雪体制は。④段差の解消や亀裂、水たまり等の早期改修に向けた対応は。

答

パトロールの強化と早期の維持修繕

①整備状況については、次表の

Table with 4 columns: Road Name, Road Length, Sidewalk Length, and Sidewalk Completion Rate. Lists various roads like National Route 281, 340, and local town roads.

とおりです。

②県では、緊急性の高い箇所から整備するとしており、国道281号江刈川地区、国道340号車門地区の路肩部を拡幅するなど、安全な通行の確保に努めています。

町道は、歩道の整備計画はありませんが、改良事業及び維持修繕事業において、安全な通行の確保に努めています。

③国・県道は、通勤や通学に間に合うように重点的に行い、そのほかは、車道の除雪が終り次第速やかに行うよう努めています。

町道は車両の通行確保の後、歩道の除雪を行っています。④県ではパトロールを行って、早期発見や補修に努めています。町は、早期の補修や応急処置を行うなど、安全な通行を確保しています。

全国・岩手県町村議会議長会表彰を5議員が受賞

- 全国町村議会議長会表彰 (在職15年以上)
- 鳩岡 明男 副議長
- 橋場 清廣 議員
- 山岸 はる美 議員
- 岩手県町村議会議長会表彰 (在職11年以上)
- 小谷地 喜代治 議員
- 姉帯 春治 議員



前列左から山岸議員、鳩岡副議長、橋場議員
後列左から小谷地議員、姉帯議員

全国町村議会議長会と岩手県町村議会議長会から5人の議員が表彰され、3月3日の本会議に先立ち、中崎議長から表彰状の伝達が行われました。

この表彰は、地方自治の進展に尽力された功績が認められたもので、議員それぞれの受賞内容は次のとおりです。

復興への努力と勇氣に感銘

この度の「東日本大震災」におきまして、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました皆様、そのご家族やご親戚の方々に心よりお見舞い申し上げます。震災から50日が過ぎ、被害状況が明らかになるにつれ、親しい方や大切な生活を奪われた皆様のご心中を思い心を痛めております。

過日、岩手県町村議会議長会会長の立場で、全国町村議会議長会から贈られたお見舞い金をお届けするために、岩手県沿岸部の町村議会を訪問させていただきましたが、あらためて大震災が残したつめ跡の深さ、悲痛さを実感いたしました。

また、わずかな時間ではありましたが、被災地を訪問し、未曾有の悲劇と試練に直面しながらも、悲しみに耐え、前を向いて一步一步踏み出そうと頑張っておられる姿を目の当たりにして、この困難を乗り越えるために被災者や行政機関等の皆様が払われている努力と勇氣に感銘を受けてまいりました。

この復興には、長い年月を要すると思いますが、一日も早く地域産業が復興し、被災者の方々が正常な生活を取り戻していただくために、葛巻町議会としてもできる限りの支援を行ってまいりたいと思えます。

葛巻町議会 議長 中崎 和久

情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。
各団体の總會、式典の会費が主なものです。

- 1月 55,000円 (商工会創立50周年記念式典ほか)
- 2月 14,000円 (和牛繁殖1,000頭達成祝賀会ほか)
- 3月 11,500円 (自衛隊入隊予定者激励会ほか)

編集後記

去る3月11日の午後2時46分に発生した「東日本大震災」により被害を受けられた方々にお見舞い申し上げます。被災地の1日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、今年度の議会だよりの表紙の年間テーマは、「笑顔のつどい」です。
新年度も、皆さんの周りに笑顔があるといいですね。

広報発行常任委員会
副委員長 鈴木 満

